

2023年度



浜松市IR資料

出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん



SDGs未来都市・浜松
市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

内 容

- 1 浜松市の概要**
- 2 地方創生**
- 3 持続可能な都市経営**
- 4 浜松市の未来に向けて**
- 5 持続可能な財政運営**
- 6 市債発行方針**

なかの
中野 祐介

1970年(昭和45年)生まれ (53才)



～主な経歴～

- 1994年(平成6年)3月 東京大学経済学部 卒業
- 1994年(平成6年)4月 自治省(現・総務省) 入省
- 2012年(平成24年)4月 京都府総務部長 就任
- 2014年(平成26年)9月 石破茂地方創生担当大臣秘書官 就任
- 2017年(平成29年)4月 北海道総務部長兼北方領土対策本部長 就任
- 2019年(令和元年)6月 北海道副知事 就任
- 2022年(令和4年)4月 総務省都道府県税課長 就任
- 2023年(令和5年)5月 浜松市長 就任

浜松をもっと元気に！
～浜松から地方創生～



出世の街 浜松

1 浜松市の概要

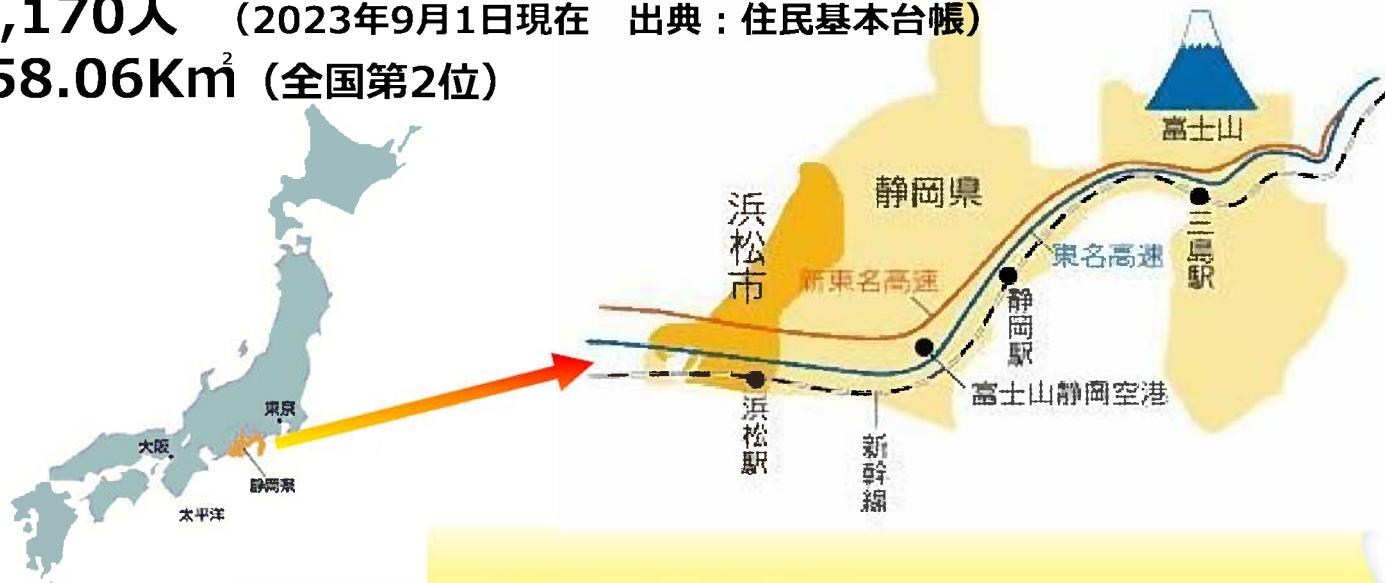


浜松市の概要

出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

人口：790,170人（2023年9月1日現在 出典：住民基本台帳）

面積：1,558.06Km²（全国第2位）



浜松へのアクセス





国土縮図型の政令指定都市・浜松

出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

～今までと異なるタイプの大都市～

天竜川の上流部から下流部まで広大な市域を有し、都心の活性化から中山間地域の過疎対策、また農業・林業振興など、大都市圏の政令指定都市とは異なり、全国の市町村が抱える課題を凝縮した政令指定都市

- ①広大な市域 1,558.06km² <指定都市平均600.56km²>
- ②市域に占める森林面積の割合 65.2% <指定都市平均33.8%>
- ③第1次産業人口割合 4.0% <指定都市平均1.0%>
- ④D I D※（人口集中地区）面積割合 5.5% <指定都市平均39.4%>
- ⑤D I D人口割合 59.6% <指定都市平均92.5%>

※D I D・・・人口密度の高い(4,000人/km²以上)地域が互いに隣接して人口5,000人以上となる地域のこと



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

浜松の優位性

11 住み続けられる
まちづくりを



①国土縮図型都市

- 伊豆より大きな市域に山、川、湖、海あらゆる自然がある
- 豊かな開放空間



②中部地方第二の都市

- 中部地方で名古屋に次ぐ第二の都市（79万人）
- 基本的な都市機能は完備。都市から来られた方が不便さを感じない



③良好な交通アクセス

- 大都市圏へのアクセスの良さ
- 二拠点居住、二拠点活動にもってこい



④寛容な風土・市民性

- 「よそ者」に寛容で、開放的
- 産業の功労者も市外出身
- 多くの市外出身者によるベンチャーコミュニティ
- 外国人は重要なパートナー



浜松は日本一暮らしやすい街



浜松の総合評価

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



政令指定都市 幸福度ランキング

日本総研が、どの都市が幸福度が高いかを
47の指標で分析

2018年：総合第1位
(H30)

2020年：総合第2位
(R2)

2022年：総合第1位
(R4)

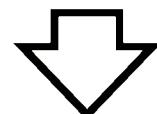
健康寿命

厚生労働省の研究班が、3年に一度、政令指定
都市・特別区の健康寿命を調査

2010年, 2013年, 2016年 男女とも3期連続1位
(H22) (H25) (H28)

2019年
(R1)

男性4位 女性4期連続1位



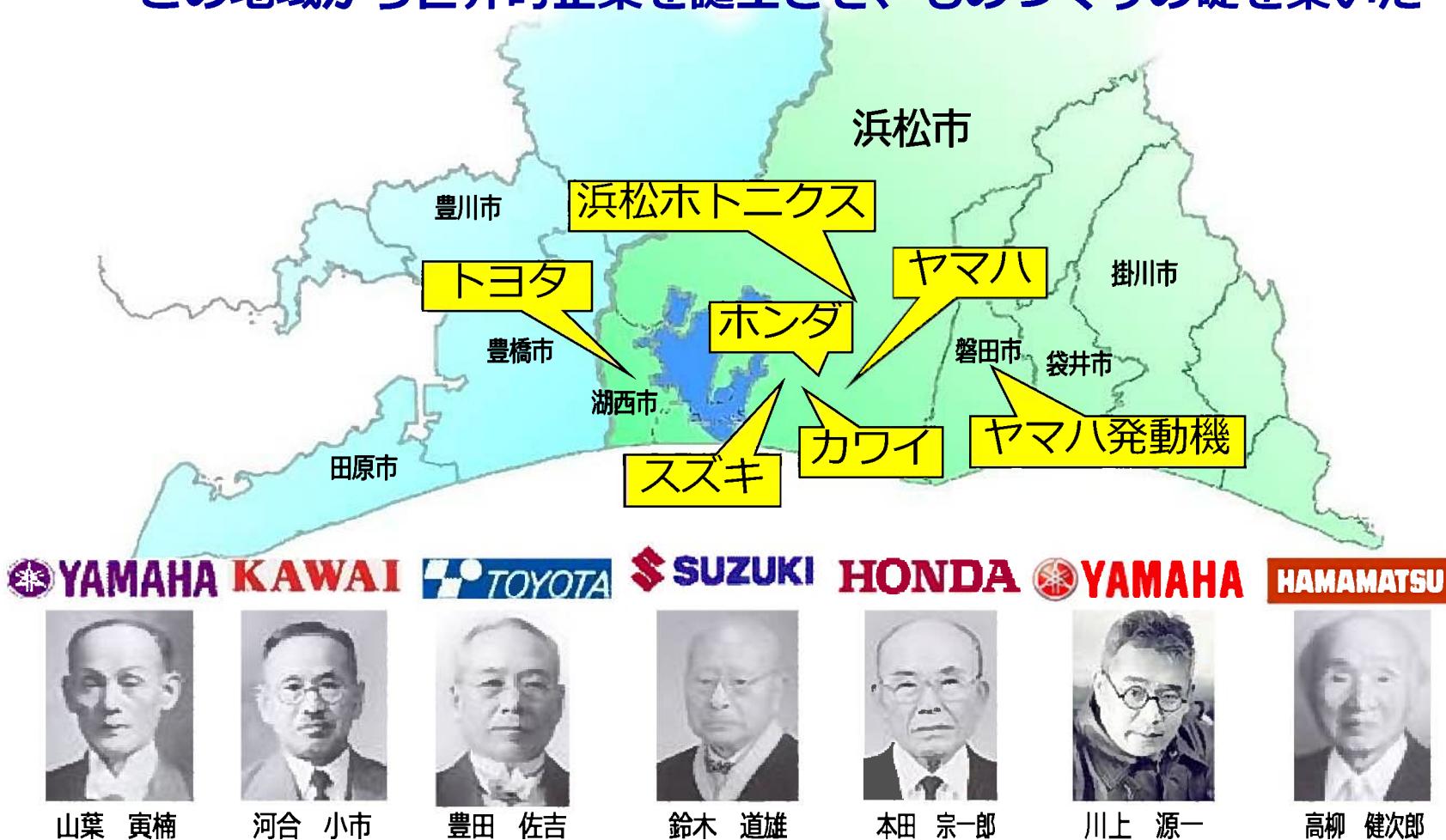
日本一市民が健康で幸福に暮らせる街



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

浜松地域のDNA 「やらまいか精神」

この地域から世界的企業を誕生させ、ものづくりの礎を築いた





スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市



浜松および愛知・名古屋地域が、内閣府の「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に認定

「スタートアップ・エコシステム 拠点都市」

内閣府が、日本の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした、世界に対抗する日本型スタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点都市計画を認定するもの。

グローバル拠点都市 (各コンソーシアム構成都市)

- ① 東京都、川崎市、横浜市等
- ② 愛知県、名古屋市、**浜松市**
- ③ 大阪市、京都市、神戸市等
- ④ 福岡市

ビジョン

スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。
将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うこと、日本経済の発展に寄与する。

構成機関

静岡大学
浜松医科大学
光産業創成大学院大学
静岡銀行
浜松磐田信用金庫
浜松商工会議所
浜松地域イノベーション推進機構
JETRO浜松
ヤマハ(株)
スズキ(株)
浜松ホニクス(株)
(株)ソニックマネージメントホールディングス
リンクウェイズ(株)
(株)ANSeeN
浜松市

戦略

戦略1 スタートアップの創出	■起業を後押しする環境の整備 ■大学や研究機関の研究シーズの事業化 ■アントレプレナーシップ教育の強化
戦略2 スタートアップの経営力強化	■経営に必要なノウハウ等を習得できる場の提供 ■経営をはじめとした専門人材の獲得支援 ■グローバル化・海外展開の支援
戦略3 資金調達環境の整備	■制度融資や補助金の充実 ■スタートアップへの投資の促進 ■新たな資金提供者の創出
戦略4 オーブンイノベーションの推進	■スタートアップとのマッチングの場の創出 ■拠点、ネットワークの活性化(イベント強化など) ■積極的なスタートアップとの連携や先端技術の活用 ■試作等の支援
戦略5 スタートアップの誘致	■情報発信力の強化 ■本市進出の機会づくり ■本市に進出するスタートアップがビジネスしやすい環境の整備
戦略6 スタートアップ支援力の強化	■支援者のスキル強化 ■支援機関の誘致

KPI (R2.4～R7.3)	基準値	R4年度	目標数値
創業数	10社	22社	30社
イベントの開催数	102回	299回	300回
ファンド調達額	11億円	22.15億円	30億円
企業等との連携数	25件	33件	75件
市外からの進出数	4社	19社	12社



浜松の農業 ～豊富な特産品～



土壤の特性を活かし、多種多様な農産物を
生産しているが、中でもみかんの産出額（推計）は
全国1位を誇っている。

①特徴的な地形と土質

中山間地、台地、平野部、沿岸部など

②豊富な日照量

全国有数の日照量

③流通の好立地

**首都圏と関西圏のほぼ中間に
あり、流通の拠点**





出世の街 浜松

2 地 方 創 生



浜松市“やらまいか”人口ビジョン

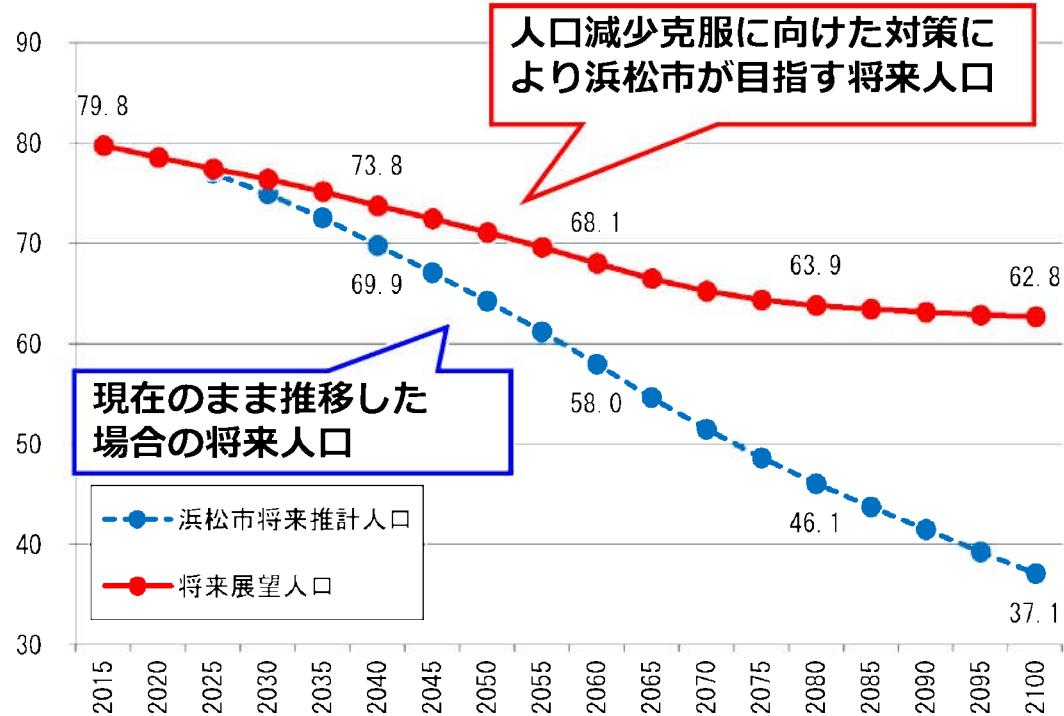


出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

目標

合計特殊出生率の上昇：2024年に1.84、2040年に2.07とする

東京圏との社会移動の均衡：2024年度に東京圏との社会移動を均衡させる



今後人口は確実に減少する！

○浜松市が目指す将来の人口
(将来人口展望)

2040年:73.8万人
2060年:68.1万人



○現在の出生率、移動率などが
このまま続いた場合

2040年:69.9万人
2060年:58.0万人



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

市民の皆さまへの3つの誓い

I 浜松から地方創生

- ① 地域活性 **-まちをもっと元気に-**
- ② 産業振興 **-しごと・経済をもっと元気に-**
- ③ 子育て・教育・くらし **-ひとをもっと元気に-**

II 安心・安全な都市基盤の構築 安心・安全なまち・浜松づくり

III 持続可能な都市・浜松の実現 未来に向けた都市経営の推進



第2期浜松市“やらまいか”総合戦略

三つの基本目標

I 若者がチャレンジできるまち

- ・地元産業力の強化
- ・労働供給力の開拓

II 子育て世代を全力で応援するまち

- ・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ・「創造都市・浜松」を担う次代の育成

III 持続可能で創造性あふれるまち

- ・安全・安心なまちづくり
- ・にぎわいの創出
- ・支え合いによる地域社会の形成
- ・コンパクトでメリハリの効いたまちづくり
- ・持続可能な都市経営

第2期総合戦略の視点・ポイント



- ① 「関係人口」の創出、拡大
- ② Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ③ SDGsを原動力とした地方創生の推進
- ④ 誰もが活躍できる地域社会の実現



- ① 新産業・就業機会の創出
- ② 「70歳現役都市・浜松」の推進
- ③ すべての人が活躍できる労働環境の整備
- ④ 子育てがしやすい生活環境の整備
- ⑤ 多様な魅力発信
- ⑥ 将来を担う人材の育成
- ⑦ デジタルファーストの推進



フィルムコミッショングのロケ誘致 及びプロモーションについて

全国規模の作品支援で全国的な賞を連続受賞！

大河ドラマはもとより、映画、ドラマ、情報番組、ウェブメディア等に浜松市が登場することが増加中。フィルムコミッショングは地域活性化の牽引役を担っています。



日本の訪れてみたい
アニメ聖地88選定（2作品）

天竜浜名湖鉄道で
ラッピング列車運行中

<ロケ実績>

年 度	全国規模の ロケ支援件数
2022年度	109件 (321件)
2021年度	91件 (196件)
2020年度	94件 (192件)
2019年度	92件 (206件)
2018年度	88件 (182件)



<主な受賞実績>

2021 第7回JFCアワード最優秀賞
映画「弱虫ペダル」

2022 第8回JFCアワード優秀賞を2作品で受賞
中国映画「唐人街探偵 東京MISSION」／TVドラマ「ゆるキャン△」

2023年夏
TVアニメ全国放送

※JFC=ジャパン・フィルムコミッショング

() カッコ内は全体支援件数



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

大河ドラマゆかりの地 浜松 ～どうする家康 浜松 大河ドラマ館～

ドラマで使用された小道具や衣装、ストーリーやキャスト紹介のパネル等を展示

◆プレオープン

2023年1月22日（日）～2月28日（火）

歴代大河ドラマが描いた徳川家康展

来館者数 54,496人



◆グランドオープン

3月18日（土）～2024年1月14日（日）

※10/7来館者数 40万人突破！



第1回リニューアル：2023年5月19日（金）

第2回リニューアル：2023年7月28日（金）



ビーチ・マリンスポーツの聖地

～江之島と三ヶ日を拠点として整備進める～

11 住み続けられる
まちづくりを



- ▶ 浜名湖や遠州灘では、ビーチテニス、ビーチラグビー、ウインドサーフィン等、さまざまなビーチ・マリンスポーツが実施可能。
- ▶ 大会やイベントを通じて賑わいを創出するとともに、ビーチ・マリンスポーツの聖地を目指し、競技団体や民間事業者等と連携し推進事業を展開。
- ▶ 各地区のゾーニングを行い江之島地区をビーチスポーツ、三ヶ日地区をマリンスポーツの拠点としてそれぞれ整備を進める。
※江之島ビーチコート 令和9年度以降グランドオープン予定



ビーチバレー・ビーチサッカー・ビーチラグビー・
ビーチハンドボール・ビーチテニス・ビーチフラッ
グス etc



サーフィン・ボディーボード・パラセイリング・ヨ
ット・水上スキー・シーカヤック・ウインドサーフィ
ン・パドルボード・ウェイクボード・フライボード
etc



浜松国際ピアノコンクール



第10回優勝者のジャン・チャクムルさん

チョ・ソンジン (2015年 ショパン国際ピアノコンクール 第1位)、
アレクサンダー・ガジェヴ (2021年 ショパン国際ピアノコンクール 第2位) 等
多くのピアニストが世界で活躍

1991年第1回開催
以後3年に1度開催

次回第12回は
2024年に開催





出世の街 浜松

3 持続可能な都市経営 ～未来のキーワード “持続可能”～





(1)持続可能な将来を 見据えた「区の再編」



- 人口減少、少子高齢化のさらなる進行
- 激変する社会経済状況や市民ニーズへの対応
- デジタル化の急速な進展

将来を見据え、持続可能な行政サービスの維持・強化策について検討



区
再
編

- 法律により設置が義務付けられている区役所の数を削減
- 市の裁量で設置できる行政センターにおいて区役所と同等のサービスを提供
- 臨機応変にサービス提供体制や職員配置を最適化できる仕組みを構築

時代の変化に合わせた柔軟で効率的な組織運営と
住民サービスの向上



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

(1)持続可能な将来を 見据えた「区の再編」

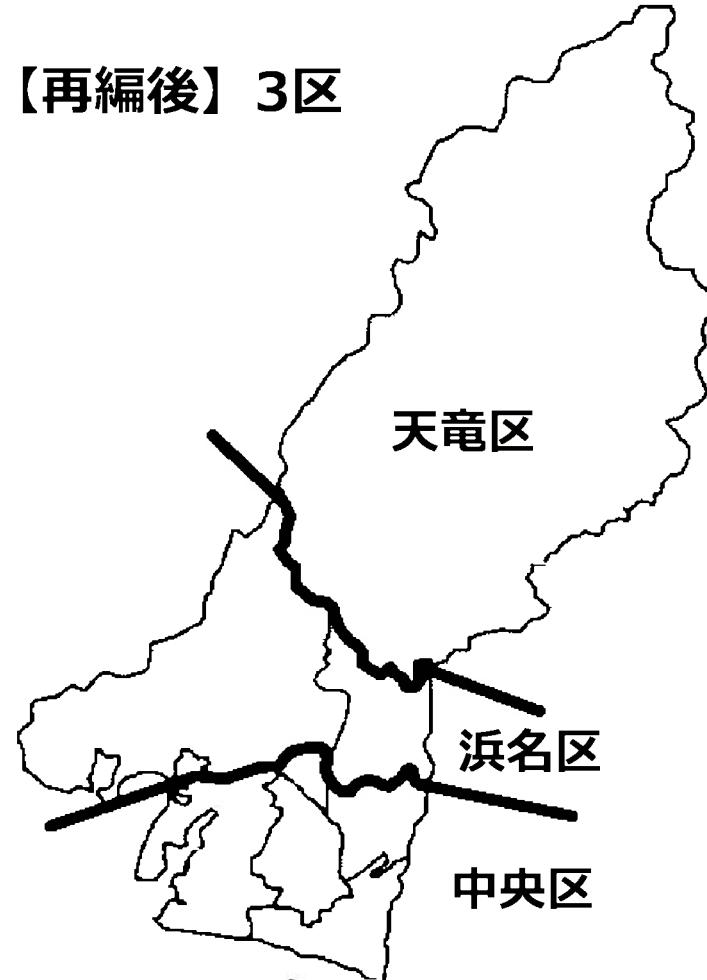


2024(令和6)年1月1日、行政区が3区へ

【現在】 7区



【再編後】 3区





(2)SDGs（持続可能な開発目標）の推進

SDGs（持続可能な開発目標）

- 2015年9月、国連サミットで採択された、
2030年までに達成すべき17の目標
- 「誰ひとり取り残さない」社会の実現のため、
貧困や不平等、気候変動などの課題解決を目指す



2018年6月、国から「SDGs未来都市」に選定

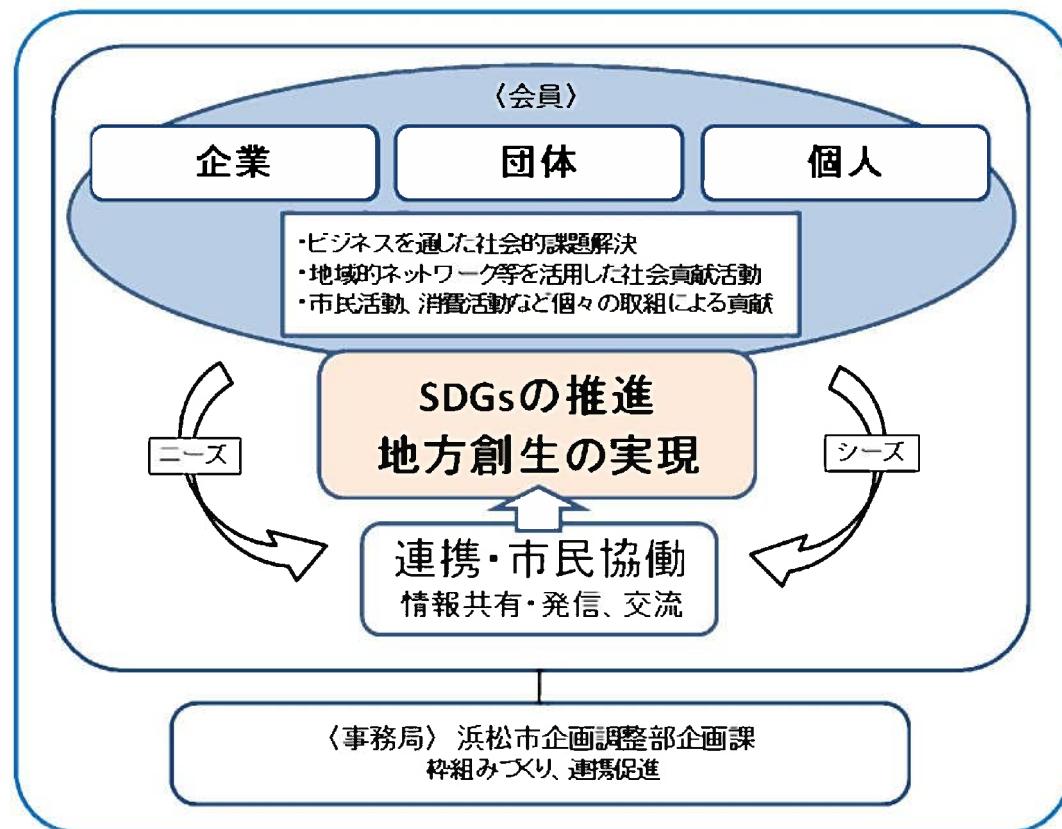


浜松市SDGs推進 プラットフォーム

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



浜松市におけるSDGsの達成に向けた、企業・団体・個人による幅広い活動の推進のため、SDGsに関連する活動に取り組んでいる、または関心を持っている会員同士の交流や情報交換を通じて、各々の活動を活性化させることを目的として、「浜松市SDGs推進プラットフォーム」を設立（2019年5月29日）



会員数:565
(2023年8月31日現在)



SDGs未来都市・浜松

23



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

浜松の特徴的な取り組み

①2050年 脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現



- 浜松市域の温室効果ガス排出量 -

2020年度（速報値）

2013年度（基準年度）
約570万t-CO2
(過去)

約430万t-CO2
(現在)
2013年度比 24.8%減少

2050年度（目標年度）
実質ゼロ
(将来)

①再生可能エネルギーの導入・利用拡大

- 多様な再生可能エネルギーの最大限の導入
- 再生可能エネルギー電源の地産地消
- 住宅・工場・事業所・公共施設等への太陽光発電等の導入 etc



②徹底した省エネルギー+イノベーションの推進

- 市民生活における省エネルギーの推進
- 事業所における省エネルギーの推進
- 住宅・工場・事務所・公共施設等のZEH・ZEB化
- 水素等、次世代エネルギーの利活用 etc



③二酸化炭素吸収源の確保

- 持続可能な森林経営
- 天竜材の利用拡大
- 森林資源の価値創造（カーボンクレジット） etc





② FSCを活用した持続可能な森林経営 【FSC認証によるブランド化】



天竜材のブランド化（価値創造）

⇒ 国際森林認証制度『FSC森林認証』 (2010.3取得)

※6森林組合と市、県等によるグループ認証

《FSC森林認証制度の概要》

- ドイツに本部を置く森林管理協議会 (Forest Stewardship Council) が、
「森林が適切に管理されているか」を、全世界統一の基準に沿って審査、認証。
- 森林から生産された木材・木材製品へ認証ラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて持続可能な森林経営を支援する制度。
- 違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐ効果的な仕組み。



責任ある森林管理
のマーク

スターバックスコーヒーの事例



森永乳業の事例





② FSCを活用した持続可能な森林経営 【天竜材の活用事例】



- 市町村別認証取得面積全国1位
- 全国屈指のFSC認証材の供給能力を有する地域 (6.0万m³/年※)

浜松市のFSC認証材使用物件

※2022年度実績

浜松中部学園（2017年4月） 浜松こども館（2021年4月）

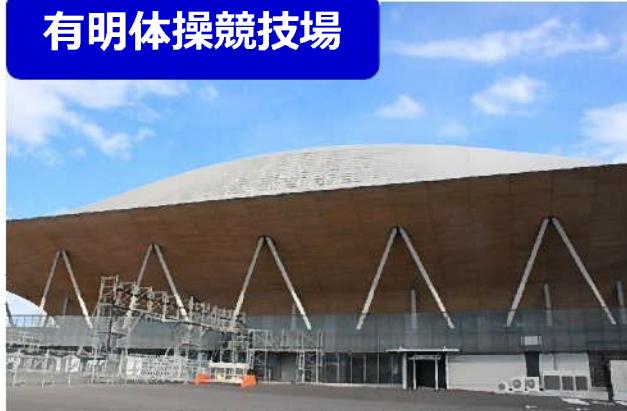
※ 全国で初めて学校施設(一部) ※ 全国で初めて公共の類似児童
にFSC認証材を使用 施設にFSC認証材を使用



新国立競技場



有明体操競技場



名古屋城天守閣復元



選手村ビレッジプラザ





出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

③日本をリードする 多文化共生社会づくり



外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業

外国人の子どもの不就学を生み出さない「浜松モデル」を推進

- ①転入時等の就学案内
- ②就学状況の継続的な把握
- ③就学に向けてのきめ細かな支援
- ④就学後の定着支援



2013年9月
「不就学ゼロ」
達成!!

「インターナショナル・シティ（ICC） ・ネットワーク」に加盟

- 2017年10月、欧州評議会が主導し、文化的多様性をまちづくりに生かす都市政策（ICCプログラム）を進める都市間ネットワークへ加盟
- 欧州を中心に世界160都市以上の多文化共生都市との連携を推進



加盟は
アジアの都市
では初!!

外国人材活躍宣言事業所認定制度の創設

- 外国人材の活躍推進に積極的に取り組む事業所を認定・公表するとともに、認定を目指す事業所へアドバイザーを派遣
- 外国人雇用サポートデスク・留学生インターンシップ支援等関連施策と連携して外国人材の活躍の場を創出



浜松は日本の多文化共生をリードし、進化させる



(3)デジタルを活用したまちづくり



◆浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例 施行日：2022年7月

- ・市民生活の質の向上や都市の最適化を図り、安全・安心で幸せに暮らし続けることができる持続可能な都市を築くことを目的に制定。
- ・条例に基本原則や市の責務、市民等の役割、基本指針等の策定、推進体制の整備等を規定。

◆基本指針：デジタル・スマートシティ構想 施行日：2021年3月

- ・デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第1項に規定する「基本指針」として位置づけ。
- ・市民QoL（生活の質）の向上と都市の最適化を目指し、3つの視点と5つの原則に基づき、官民で取組を推進していくことを規定。

◆基本指針に基づく計画：浜松市DX推進計画 施行日：2023年1月

- ・デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第2項に規定する「基本方針（デジタル・スマートシティ構想）に基づく計画」として位置づけ。
- ・「人に寄り添ったデジタル活用」を目指し、デジタル活用による市民サービスの向上や、自治体の生産性向上に取り組む。



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

デジタル・スマートシティ 推進体制



【府内組織】

デジタル・スマートシティ推進本部

本部長：浜松市長

<外部人材の活用>

効果的なDX推進のため、フェローなど外部人材を積極活用



【官民連携組織】

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム

浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム

代表：浜松市長、事務局：浜松市（デジタル・スマートシティ推進課）

会員数:211
(2023.9.1現在)

デジタル・ガバメント分野

浜松市所管部局



防災・安全分野

浜松市所管部局



教育・子育て分野

浜松市所管部局



観光・商業分野

浜松・浜名湖
ツーリズムビューロー



産業(ものづくり)分野

浜松市スタートアップ戦略
推進協議会



※必要に応じ部会
や
分科会を設置

エネルギー分野

浜松市カーボンニュートラル推進協議会



モビリティ分野

浜松市モビリティサービス
推進コンソーシアム



農林業分野

【林業】 静岡県農林技術研究所
森林・林業研究センター
【農業】 浜松スマート農業推進協議会



健康・医療・福祉分野

浜松ウエルネス推進協議
会浜松ウエルネス・ラボ





(4)浜松ウエルネスプロジェクト 【健康・医療・福祉分野】



- ▶ 浜松市は、「大都市別の健康寿命」が**男性、女性ともにトップクラス**であり、「全国20政令指定都市の幸福度ランキング2022年度版」では、**総合ランキング1位**になりました。
- ▶ 浜松ウエルネスプロジェクトでは、こうした強みを一層進展させ、市民が病気を未然に予防することにより、健康で幸せに暮らすことができるとともに、**産業など地域の発展を市民の健康が支える都市（＝「予防・健幸都市（ウェルネスシティ）」）を実現するため**、2つの官民連携プラットフォーム（浜松ウエルネス推進協議会※1、浜松ウエルネス・ラボ※2）を核に**様々な事業を展開しています。**

プロジェクトの3つの柱

<1.市民の健康増進>

市民の健康増進・健康寿命延伸を図るため、多様な健康ニーズへの対応・行動変容を目的とした**官民連携によるヘルスケア事業を実施**しています。また**ヘルスケアアプリ**を運用しており、更なる利用を促進します。

取組事例

はままつ健幸クラブ

日々の健康づくりの取り組みをアプリで見えるとします！

目標設定

生活習慣チェック

市公式ヘルスケアアプリの運用・利用促進

浜松市 浜松ウエルネスプロジェクト



<2.地域企業の健康経営の促進>

人的資本である従業員の健康維持・増進により、企業の成長を目指す健康経営について、**企業に対しセミナーの開催や個別サポート等**により取組支援します。

<3.ヘルスケア産業の創出>

スタートアップ振興策と連動した事業に加え、**浜松ウエルネス推進協議会との連携によるヘルスケア産業の創出**を支援します。また**浜松ウエルネス・ラボ**では浜松をフィールドに社会実証事業を実施し、事業化を促します。

※1 参画企業142社、18団体 計160企業・団体

※2 加入企業7社、4団体 計 11企業・団体

30



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

(5)窓口DXの推進



■ 行政手続きオンライン化の推進

- 市役所に来庁しなくても手続きが完了するなど、市民の利便性向上並びに行政運営の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化を推進。

2022年度
1,026手続きについて
オンライン化済

2023年度
子育て分野等、ニーズ
の高い分野のUI/UXの
改善を図り、利用率の
向上を目指す

■ キャッシュレス決済の推進



利便性向上
決済時間短縮



施設利用料など

2022年度

<導入済施設>
証明書等交付施設：65
施設利用料取扱施設：15

2023年度

すべての証明書等交付
施設への導入が完了
施設利用料取扱施設で
の拡大を目指す

■ 書かないワンストップ窓口の導入

2023年2月に「書かないワン
ストップ窓口」を導入

市民が届出書等の記入などに
かかる手間を省き、署名だけ
で手続きが完了

- 市民満足度の向上
- 業務の効率化





出世の街 浜松

4 浜松市の未来に向けて



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

浜松市未来ビジョン (2015~2044)



○都市の将来像

市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』

【創造都市】

技術も文化も国際色豊かなクリエイティブシティ

【市民協働】

小さな歯車が重なって大きな“こと”を動かす

【ひとづくり】

新しさを生む伝統を未来へつなぐ

浜松市戦略計画（毎年策定）

戦略計画2024の基本方針

「元気なまち・浜松の実現」

- ・市民の誰もがそれぞれの場面で活躍できる元気な社会
- ・いつまでも住み続けたいと思える市民が幸福を実感できるまち
- ・市民、地域、企業とともにオール浜松で取り組む

浜松市未来ビジョン第1次推進プラン (2015~2024)

■ 都市経営の考え方

- ・市民協働で高める地域力
- ・未来まで続く持続可能なまち
- ・未知の感動を生み出す創造都市
- ・想定外にも対応できる自立・自律したまち
- ・世界とつなぐ・地域とつなぐ

■ 分野別計画

- ・産業経渉
- ・子育て・教育
- ・安全・安心・快適
- ・環境・エネルギー
- ・健康・福祉
- ・文化・生涯学習
- ・地方自治・都市経営



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

浜松市中期財政計画



人口減少下における中長期的な財政運営指針

■ 計画期間 2015年度～2024年度（10年間）

■ 目標値

①一人あたり市債残高

令和6年度末までに55万円／人以下とする

②補足目標

ア 実質公債費比率（フロー指標）→類似政令指定都市（※）平均を下回る

イ 将来負担比率（ストック指標）→実質0%近傍を維持

※類似都市とは、平成13年度以降に合併を行い政令指定都市に移行した8都市を指す

⇒さいたま市、静岡市、堺市、浜松市、新潟市、岡山市、相模原市、熊本市

○中長期的な財政運営指針となる中期財政計画の必要性

- ・人口減少下においてこそ、中長期的な視点からの財政の健全化を意識して財政運営を行うことが重要
- ・30年先の将来を念頭に総合的な施策を定めた浜松市総合計画基本計画と同じ10年間を対象期間として中期財政計画を策定し、一人あたり市債残高の縮減を主たる目標とする

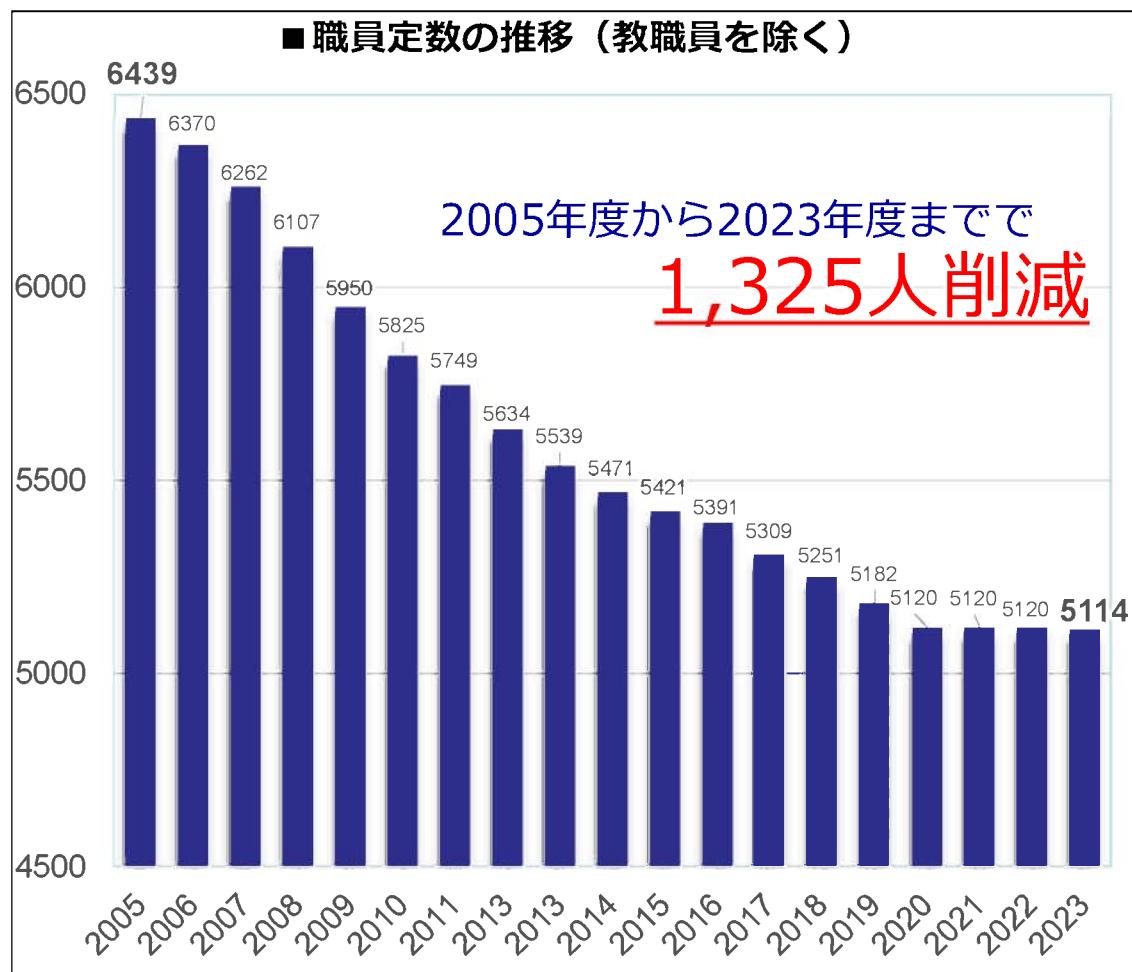


出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

職員数の適正化



人口減少社会を迎える中、新たな行政需要に対し適正な組織体制と定員管理のもと持続可能な都市経営を行うため、**定員適正化計画を策定**



■全国20の政令指定都市の中で、
人口1万人あたり職員数は
少ない方から **3番目**

順位	団体名	住民基本台帳人口 (2022.1.1)	職員実数 (2022.4.1)	人口1万人 当たり 職員数
1	相模原市	719,112	7,948	110.53
2	福岡市	1,568,265	17,719	112.98
3	浜松市	795,771	9,136	114.81
4	札幌市	1,960,668	22,908	116.84
5	さいたま市	1,332,226	15,649	117.47
6	横浜市	3,755,793	46,130	122.82
7	千葉市	976,328	12,050	123.42
8	堺市	826,158	10,327	125.00
9	岡山市	704,487	8,966	127.27
10	川崎市	1,522,390	19,498	128.07
...
18	新潟市	779,613	11,322	145.23
19	京都市	1,388,807	20,653	148.71
20	名古屋市	2,293,437	35,767	155.95

(参考：地方公共団体定員管理調査結果（総務省）より) 35



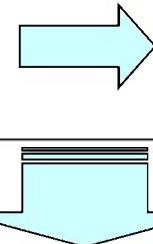
出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

戦略的な資産経営



資産経営推進方針(2009年度～)

- ・「財産管理」から脱し、コスト意識・経営感覚を伴った戦略的な「資産経営」にいち早く移行
- ・第6回日本ファシリティマネジメント大賞最優秀賞受賞(2011.2月)



■施設の削減状況

439施設(約22万m²)を削減(2009～2015年度)
⇒ 年間維持管理経費 △約5億円
⇒ 50年間の更新・改修経費 △約1,100億円

公共施設等総合管理計画(2016年3月) (2021年4月改訂)

従来からのタテモノ資産の取り組みに加え、道路・橋りょうなどインフラ資産も含め包括的な資産経営

■基本的事項

資産の見直しや活用、運営管理、処分などに関するプロセス全般を資産経営と位置付け、長期的かつ着実に推進するための羅針盤として策定

■計画期間 2015年度～2024年度(10年間)

■資産経営の基本的理念

「 知る・変える・活かす 」で支える都市経営

知る……資産の状況をしっかりと「知る」
変える……従来の考え方から離れて「変える」
活かす……創意工夫により資産を最大限「活かす」

■6つの基本方針

- ・公共施設に関するムリ・ムダ・ムラの是正
- ・安全・安心な公共施設の提供
- ・公共施設の最大限の有効活用
- ・民間活力の積極的な活用
- ・まちづくりとの連携及び近隣市町等との連携
- ・実効ある進捗管理

■マネジメントの手法

【タテモノ資産】

所管課とアセットマネジメント推進課を主とする関係課が「施設カルテ」を共有し、中長期的な総量縮減・民間活力活用などの視点を持ちつつP D C Aサイクルを実行

【インフラ資産】

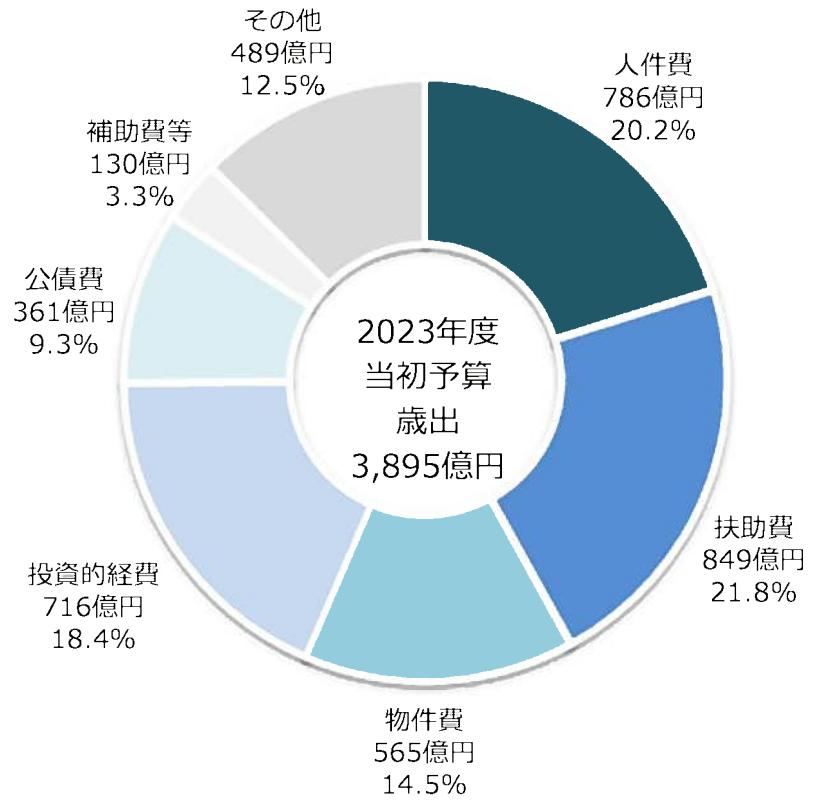
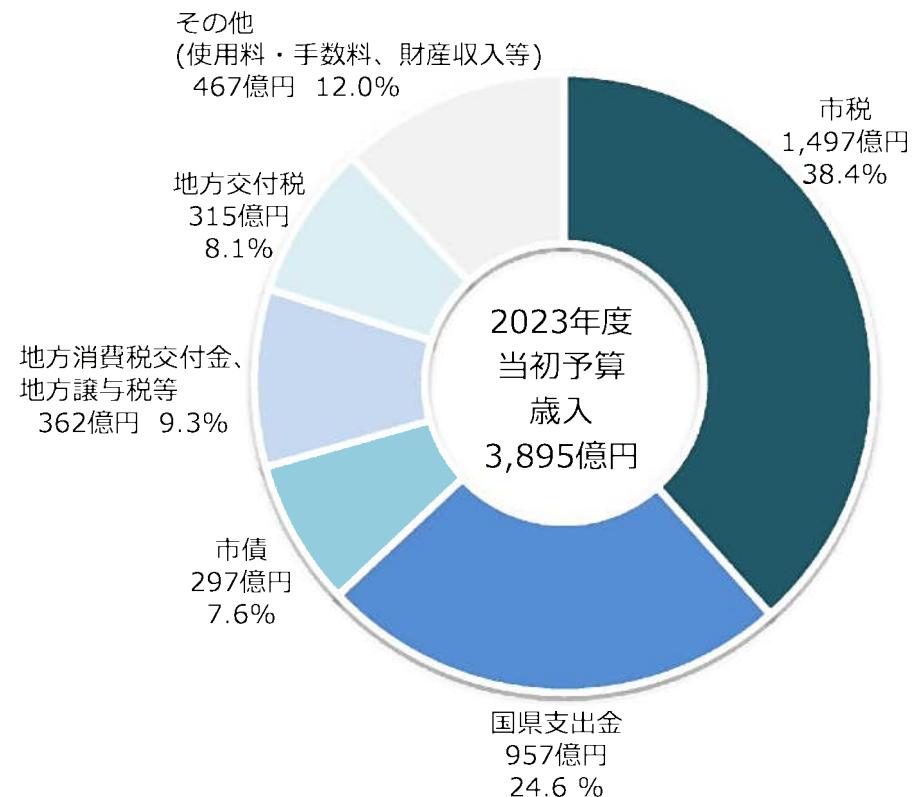
R B M(リスクベースメンテナンス)を踏まえた長寿命化計画などを基本に、メンテナンスサイクル(点検⇒診断⇒措置⇒記録)を実行



2023年度当初予算 (一般会計)



一般会計 3,895億円



都市の将来像である「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」、未来の理想の姿
「1ダースの未来」の実現に向け、長期的な視野に立ち、総合戦略に掲げた諸施策を着実に推進



原油価格・物価高騰等への迅速な対応 (2023年度補正予算)



原油価格や物価の高騰の影響を受ける中小事業者や社会福祉施設等に対し、負担軽減策を実施

主な支援内容	事業費
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給	22.6億円
中小事業者等に対する電力量料金高騰対策支援	12.0億円
介護施設等に対する光熱費等の支援	7.0億円
低所得の子育て世帯に対する特別給付金の支給	6.9億円
運送事業・公共交通等に対する燃料費の支援	2.5億円
幼稚園、保育園等に対する光熱費等の支援	1.9億円
指定管理施設に対する光熱費等の支援	1.9億円
その他（上下水道事業に対する動力費の支援等）	2.7億円
合計	57.5億円





出世の街 浜松

5 持続可能な財政運営 ～浜松市の財政状況～



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

普通会計決算の状況 ～歳入・歳出の概要～



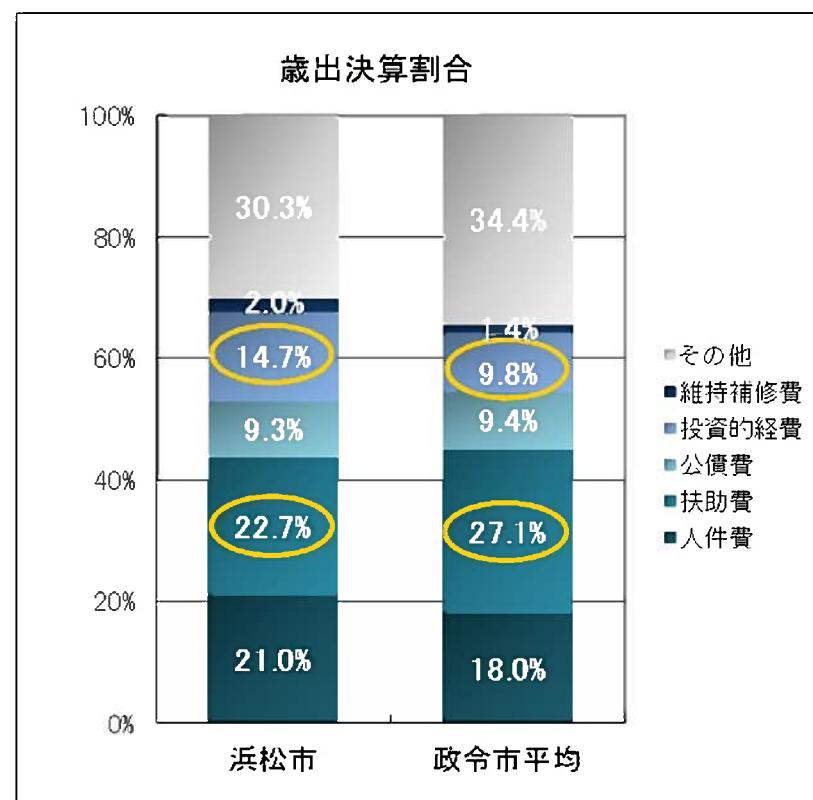
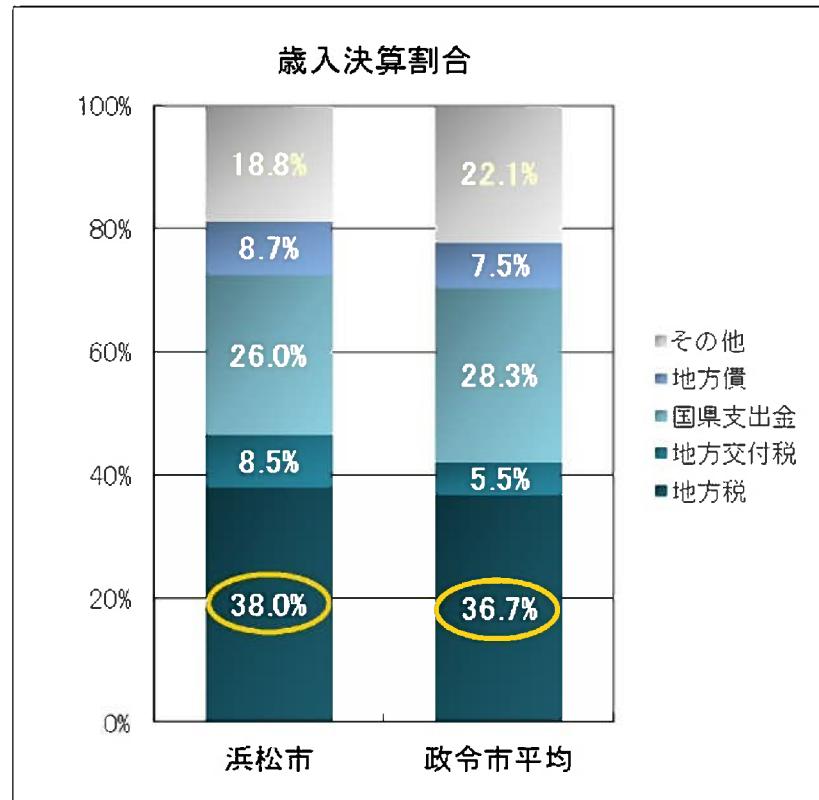
○2022年度歳入決算額 3,960億円

高い地方税割合(対政令市平均+1.3ポイント)

○2022年度歳出決算額 3,812億円

低い扶助費割合(対政令市平均△4.4ポイント)

高い投資的経費割合(対政令市平均+4.9ポイント)



※政令市平均は2022年度決算速報値の単純平均

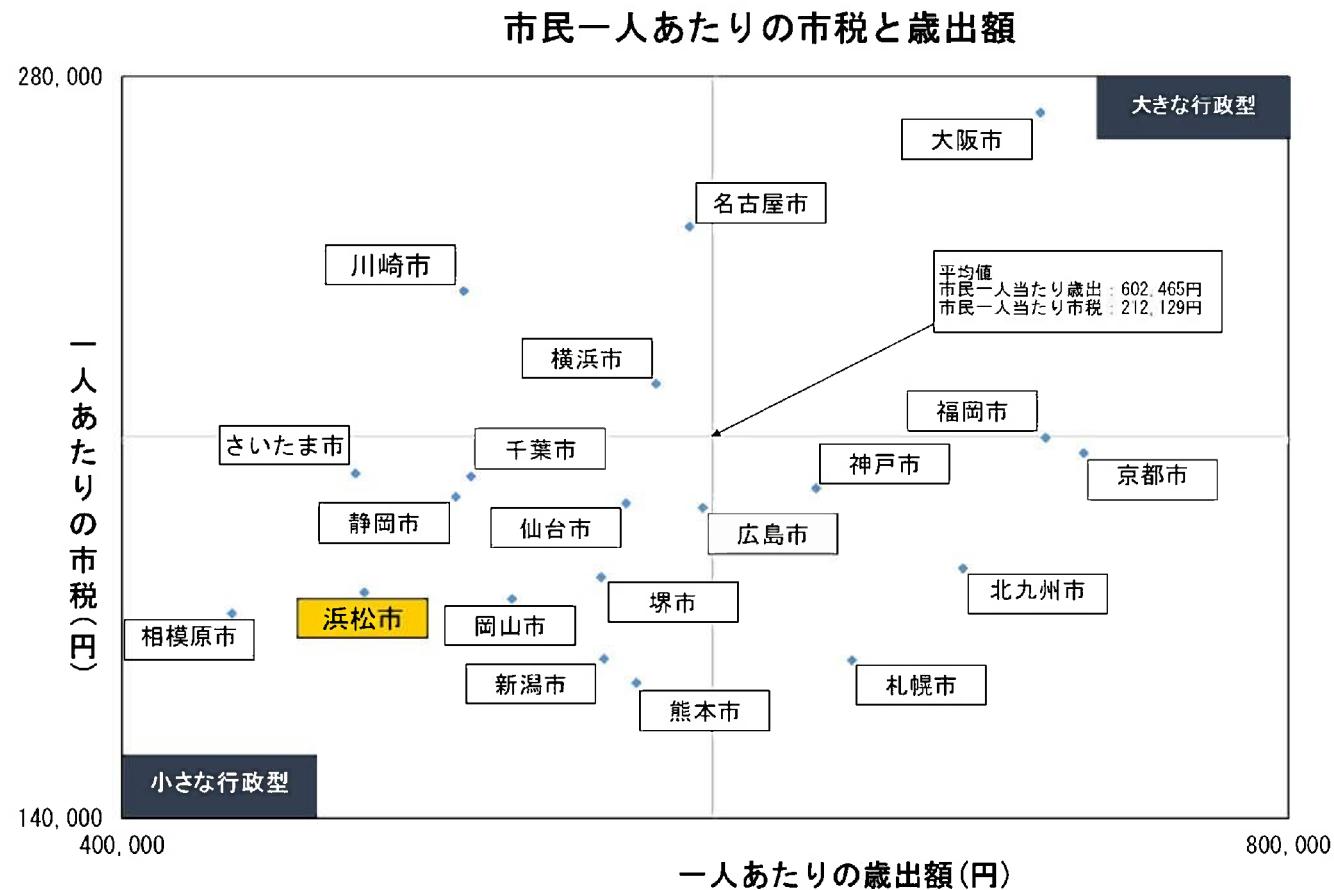


普通会計決算の状況 ～小さな行政型～



たゆまぬ行財政改革の結果、低コスト体质を実現

- ・市民一人あたりの市税は政令指定都市平均を下回る
- ・市民一人あたりの歳出額は政令指定都市の中で3番目に少ない



【市民1人あたり歳出額】

	市名	千円
1	相模原市	438
2	さいたま市	480
3	浜松市	483
4	川崎市	517
5	千葉市	520
6	岡山市	534
7	新潟市	565
8	仙台市	573
9	熊本市	576
10	横浜市	583
11	静岡市	584
12	名古屋市	595
13	堺市	621
13	神戸市	638
15	札幌市	646
16	広島市	653
17	大阪市	715
18	福岡市	717
19	北九州市	725
20	京都市	730
	単純平均	595

2021年度普通会計決算より
人口は年度末人口
表中の太線は単純平均分岐線



普通会計決算の状況 ～健全化判断比率～

11 住み続けられる
まちづくりを

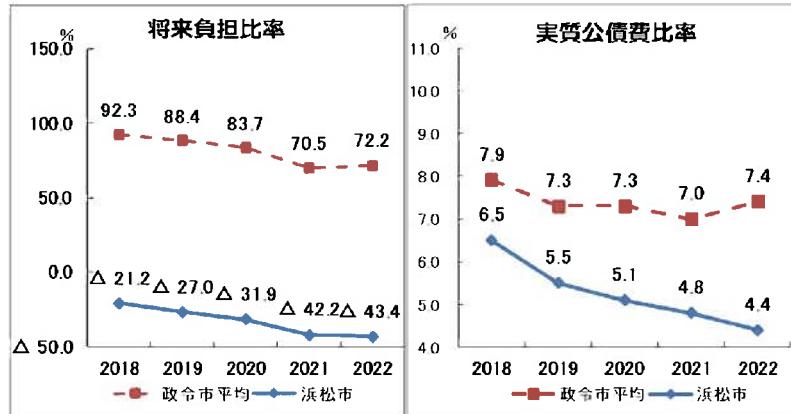


財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

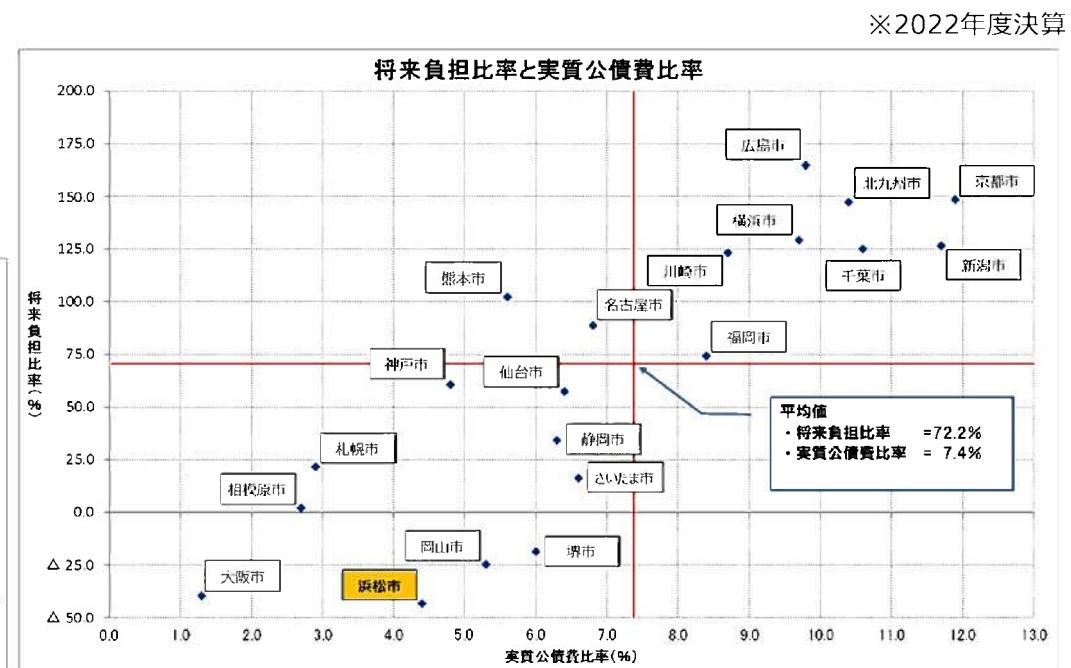
(単位: %、ポイント)

項目	2022年度 A	2021年度 B	増減 A-B	早期 健全化 基準
実質赤字比率	黒字	黒字	-	11.25
連結実質赤字比率	黒字	黒字	-	16.25
実質公債費比率	4.4	4.8	△ 0.4	25.0
将来負担比率	- (△43.4)	- (△42.2)	- (△1.2)	400.0

※将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と表示
参考に()内に上回る額の比率をマイナス(△)で表示



- ・早期健全化基準より大幅に低い健全な財政運営を維持
- ・実質公債費比率及び将来負担比率は平均を下回る。
特に将来負担比率は、政令指定都市で最良値



※2022政令市平均は2022決算速報値の単純平均



普通会計決算の状況 ～財政の健全性～



財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

※表中の太線は単純平均分岐線

順位	生活保護率	ラスパイレス指数	経常収支比率
1	浜松市 0.91	大阪市 97.1	大阪市 85.1
2	静岡市 1.37	相模原市 98.8	岡山市 85.5
3	さいたま市 1.46	名古屋市 98.9	浜松市 88.1
4	新潟市 1.50	京都市 99.0	静岡市 90.0
5	仙台市 1.69	新潟市 99.1	福岡市 90.3
6	岡山市 1.76	札幌市 99.6	熊本市 90.8
7	横浜市 1.83	広島市 99.9	新潟市 92.3
8	川崎市 1.91	熊本市 100.0	さいたま市 92.5
9	相模原市 1.93	浜松市 100.1	札幌市 93.0
10	広島市 1.97	横浜市 100.1	相模原市 93.3
11	名古屋市 2.02	堺市 100.1	堺市 93.7
12	熊本市 2.02	神戸市 100.3	京都市 94.8
13	千葉市 2.20	千葉市 100.7	広島市 94.8
14	北九州市 2.40	川崎市 100.7	名古屋市 95.1
15	福岡市 2.62	岡山市 100.8	神戸市 95.3
16	京都市 2.85	さいたま市 101.6	横浜市 95.5
17	神戸市 2.86	北九州市 101.7	千葉市 95.7
18	堺市 3.00	福岡市 101.7	北九州市 96.3
19	札幌市 3.61	静岡市 102.2	仙台市 96.6
20	大阪市 4.83	仙台市 102.7	川崎市 97.4
	単純平均 2.24	単純平均 100.3	単純平均 92.8

※出典：政府統計の総合窓口
(2021年度被保護者調査)

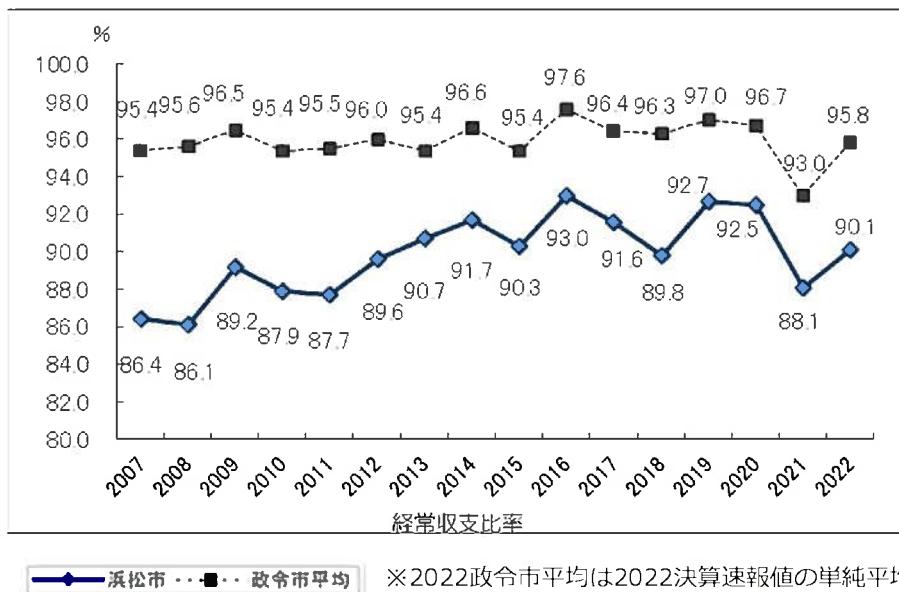
※生活保護率(人口百対)

※国家公務員を100とした場合の
地方公務員の給与水準

※出典：令和4年地方公務員
給与実態調査結果(総務省)

※2021年度決算

- ・生活保護率の低さは政令指定都市第1位
- ・経常収支比率及びラスパイレス指数は上位



※2022政令市平均は2022決算速報値の単純平均



普通会計決算の状況 ～貸借対照表～



将来世代負担比率が低い持続可能な財政運営

普通会計

2023年3月31日現在

資産 1兆4,188億円		負債 3,541億円	
将来の世代に引継ぐ社会資本		将来の世代の負担となる債務	
1 固定資産	1兆3,869億円	1 固定負債	3,134億円
(1) 有形固定資産	1兆2,763億円	(1) 地方債	2,518億円
①事業用資産	6,225億円	(2) 長期未払金	1億円
②インフラ資産	6,464億円	(3) 引当金	609億円
③物品	73億円	(4) その他	6億円
(2) 無形固定資産	7億円	2 流動負債	407億円
(3) 投資その他の資産	1,100億円	(1) 1年以内償還地方債	335億円
債務返済の財源等		(2) 未払金	1億円
2 流動資産	319億円	(3) 引当金	60億円
(1) 現金預金	158億円	(4) その他	12億円
(2) 基金	146億円	純資産 1兆647億円	
(3) その他	15億円	これまでの世代の負担	

市民一人あたりの貸借対照表

資産 179.4万円	負債 44.8万円
	(うち、市債36.1万円)
	純資産 134.7万円

- 純資産比率 75.0%
- 類似指定都市と比較すると…

- 市民一人あたりの負債額 少ない
- 純資産比率 高い
- 世代間負担比率 低い

①市民一人あたり資産額

項目	2022年度	2020年度	'20類似都市平均
人口 (人)	790,580	797,938	-
資産 (億円)	14,188	14,087	-
市民一人あたりの資産 (万円)	179	177	184

②市民一人あたり負債額

項目	2022年度	2020年度	'20類似都市平均
人口 (人)	790,580	797,938	-
負債 (億円)	3,541	3,563	-
市民一人あたりの負債 (万円)	45	45	67

③純資産比率

項目	2022年度	2020年度	'20類似都市平均
資産 A(億円)	14,188	14,087	-
純資産 B(億円)	10,648	10,524	-
純資産比率 B/A	75.0%	74.7%	59.9%

④社会資本等形成の世代間負担比率

項目	2022年度	2020年度	'20類似都市平均
有形無形固定資産 A(億円)	12,770	2,872	-
地方債残高 B(億円)	1,488	1,472	-
将来世代負担比率 B/A	11.7%	51.3%	21.3%

※類似都市平均は公開されている最新年度を掲載



普通会計決算の状況 ～行政コスト計算書～



財政運営の見直しによる効率的な行政サービスの提供

普通会計 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

費用 3,485億円		収益 249億円	
1 経常費用	3,471億円	1 経常収益	270億円
(1) 業務費用	2,085億円	(1) 使用料及び手数料	42億円
①人件費	935億円	(2) その他	28億円
②物件費等	1,086億円	2 臨時利益	1億円
③その他の業務費用	64億円	純行政コスト 3,236億円	
(2) 移転費用	1,386億円	市税などの一般財源や 国県補助金などを充当	
①補助金等	425億円		
②社会保障給付	781億円		
③他会計への繰出金	168億円		
④その他	12億円		
2 臨時損失	76億円		

市民一人あたりの行政コスト計算書

費用 43.9万円	収益 3.4万円	
	純行政コスト 41.4万円	

類似指定都市と比較すると・・・

- ・市民一人あたりの行政コストは同規模
⇒職員数の削減や補助金の見直しなどにより
コストを抑えつつ、効率的な行政サービスを提供
- ・適正な受益者負担割合
⇒使用料は、利用者間の公平性の観点など
から3年に1度の全庁的な見直し
⇒手数料は、実績に基づくコスト計算から
毎年度見直し

①市民一人あたり行政コスト

項目	2022年度	2020年度	20類似都市平均
人口 (人)	790,580	797,938	-
純行政コスト (億円)	3,276	3,801	-
市民一人あたりの行政コスト (万円)	41	48	51

②受益者負担割合

項目	2022年度	2020年度	20類似都市平均
経常費用 A(億円)	3,471	4,031	-
経常収益 B(億円)	270	246	-
受益者負担の割合 B/A	7.8%	6.1%	3.5%

※類似都市平均は公開されている最新年度を掲載



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

税収の確保



11 住み続けられる
まちづくりを



コロナ禍による厳しい経済状況に
あっても持続可能で安定的な
税務行政を推進

第5次市税滞納削減アクションプラン

- 個人市民税納期内収入率
95.82% (対2021年比 ▲0.06ポイント)
- 現年度分収入率
99.50% (対2021年比 +0.02ポイント)
- 累積滞納額
18.0億円 (対2021年比 ▲1.6億円)
- 納付手段の多様化
(電子マネー納付の導入)
- Web口座振替受付サービスの開始
- 現年分滞納整理の早期着手の強化
- 税関係資料、電話催告等の多言語化 など

コロナ禍にあってもデジタルの活用、
きめ細やかな徴収・滞納対策により
収入率の向上、滞納額削減を図る



基金残高の状況



2022年度末基金残高 511億円（前年度比20億円減）



区分	2021		2022	
	年度末残高 A	積立金 B	取崩 C	年度末残高 A+B-C
1 財政調整基金	145	43	50	138
2 減債基金	7	1	0	8
3 特定目的基金	379	21	36	365
資産管理基金	80	11	5	87
一般廃棄物処理施設整備事業基金	151	0	-	151
商工業振興施設整備基金	50	0	16	34
文化振興基金	30	8	-	38
その他	68	2	15	55
合計	531	66	86	511

※減債基金の2022年度末の残高は368億円だが、満期一括償還積立金分を除いた場合の残高は8億円

○基本的な考え方

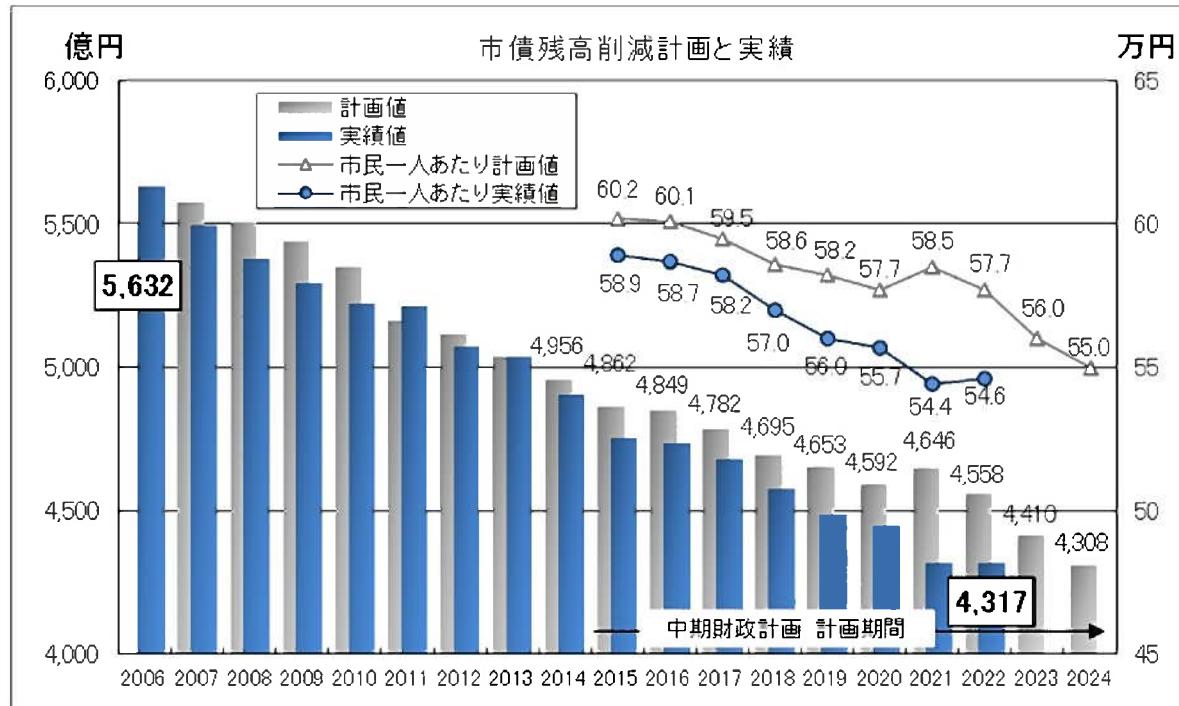
- 健全財政を進めた結果、財政調整基金は政令市移行後、一定規模を維持
- 市債借入を抑制及び平準化するため、予定される大規模事業などの必要額を特定目的基金に計画的に積立て
- 財政調整基金は、前年度決算剰余金の積立てを行った一方、財源不足を補うため50億円を取崩したことにより、前年度比7億円減の138億円
- 商工業振興施設整備基金は、企業立地促進助成事業への活用により、前年度比16億円の減
- 資産管理基金は、公有財産の適正な管理に資するため、今後の財源確保として11億円を積立て
- 一般廃棄物処理施設整備事業基金残高151億円は、今年度の新清掃工場整備にかかる財政負担に備え、積立てたもの



市債残高の状況



市債残高 4,317億円（前年度比0.02億円の減）



- 2022年度末市債残高は4,317億円
- 市民一人あたりの市債残高は54.6万円
- 中期財政計画の2022年度計画値57.7万円以下を達成

【一人あたり市債残高】

順位	市 名	残高(万円)
1	相模原市	47.8
2	さいたま市	52.7
3	浜松市	54.6
	政令指定都市平均	96.1

※2022年度末の全会計(2023.8月時点速報値)

※人口は2023年3月末日時点の住民登録者数

- 市債残高は2006年度から2022年度までの16年間で1,315億円(23.3%)の減
- 市民一人あたりの市債残高は政令指定都市の中で3番目に少ない
- 中期財政計画（2015年度～2024年度）の目標は、一人あたり市債残高を2024年度末までに55.0万円/人以下



公営企業会計決算の状況



病院・下水道事業は純利益を確保

【2022年度 損益収支】

区分	病院事業	水道事業	下水道事業
総収益	88.9	116.4	201.0
総費用	85.0	118.6	180.1
純利益	4.0	△ 2.1	21.0
未処分利益剰余金	57.8	17.0	42.4

病院事業会計

- 浜松医療センター新病院整備
 - ・開設後50年以上が経過
 - ・新病院棟の建設、既存棟の一部改修により新病院を整備
 - ・2017年度～2020年度 実施設計
 - ・2020年9月 新病院棟建設に着手
 - ・2024年1月 新病院棟開院予定

下水道事業会計

- 「浜松市下水道ビジョン」の基本施策の達成
「アセットマネジメント計画」に基づく効率的かつ優先順位を考慮した建設投資の推進により、企業債残高を削減
- 建設事業
地震対策のための幹線管きょ改築、浸水対策のための雨水管きょ築造、老朽施設の設備改築、未普及解消のための管きょ整備等を実施

水道事業会計

- 「浜松市水道事業ビジョン」の基本施策の達成
アセットマネジメント計画の導入により、長期的に投資費用の縮減、平準化を図るとともに、企業債残高を削減
- 建設事業
基幹管路の布設替えによる耐震化、配水管網の整備、老朽化した施設の更新等を実施



出世の街 浜松

6 市債発行方針

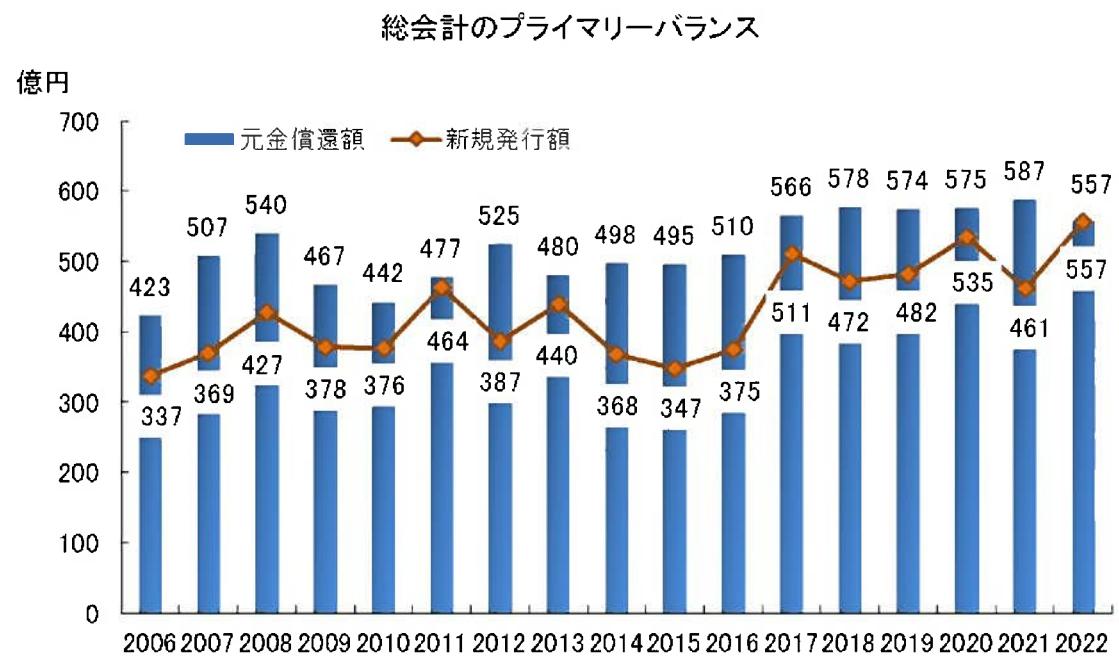


出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

市債管理方針



元金ベースのプライマリーバランス黒字を維持



- 臨時財政対策債を含めた全ての市債の合計で、元金ベースのプライマリーバランス黒字を維持
- 将来の負担軽減、リスクの排除により、中長期にわたる健全財政を維持

<発行ルール>

- ・中期財政計画に基づく市債の発行抑制
- ・元金償還額未満の発行による市債残高の削減

<償還ルール>

- ・中期財政計画に基づく償還ペースの維持

※PB（プライマリーバランス）

市債の借入額と償還額（元金と利子）とを比較した基礎的財政収支。本市では、より厳しい条件である元金償還と比較



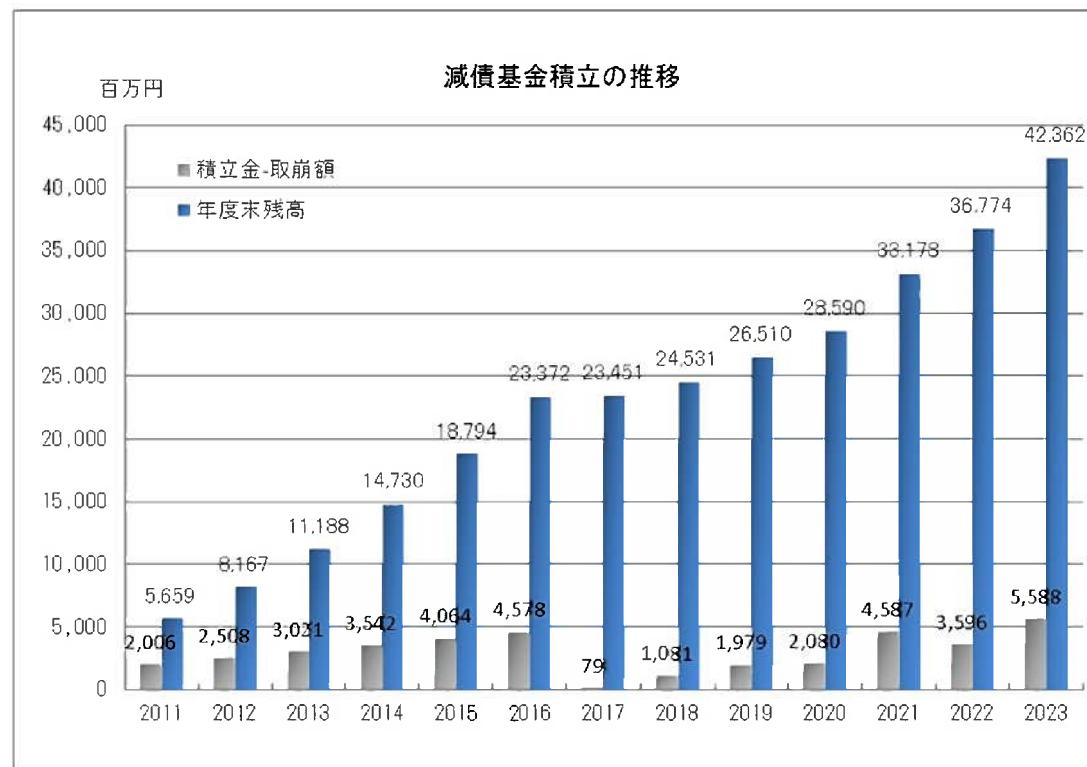
減債基金の積立

11 住み続けられる
まちづくりを



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

毎年発行額の1/20以上を減債基金に積立（据置なし）



※2022年度までは実績、2023年度は見込

- ・ 実質公債費比率の算出基準よりも前倒しの積立（1/20以上）を実施
- ・ 2017年度から、市場公募債の満期一括償還のため、毎年50億円程度を取崩し

減債基金 年度別一覧 (単位: 百万円)

年度	元金積立	利子積立	取崩額	年度末残高
2011	2,000	6	0	5,659
2012	2,500	8	0	8,167
2013	3,000	21	0	11,188
2014	3,500	42	0	14,730
2015	4,000	64	0	18,794
2016	4,500	78	0	23,372
2017	5,000	79	5,000	23,451
2018	6,000	81	5,000	24,531
2019	7,000	79	5,100	26,510
2020	7,500	80	5,500	28,590
2021	9,500	87	5,000	33,178
2022	9,500	96	6,000	36,774
2023	10,500	88	5,000	42,362



浜松市の格付け



財政計画の質と財政目標の確実な達成を高く評価

ムーディーズ・ジャパン株式会社

A 1

(エーワン)

[アウトルック：安定的]

B C A : a2

ムーディーズ格付け(2021年度スコア)地方自治体比較

都市名 ※クレジット・オビニオン公表日	浜松市 R5.5.18	静岡県 R5.3.16	静岡市 R5.5.25	札幌市 R5.4.24	横浜市 R5.3.17	名古屋市 R5.1.23	京都市 R5.3.31	大阪市 R5.4.7	堺市 R5.5.22	福岡市 R5.3.3
発行体格付け	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1
BCA	a2	a2	a2	a2	a3	a3	baa1	a2	a2	a2
推定BCAスコア	a3	a2	a3	a3	a3	a3	baa1	a2	a3	a2
推定個別リスクスコア (浜松市との差)	2.69 (-)	2.36 △ 0.33	3.41 0.72	2.77 0.08	2.77 0.08	3.13 0.44	3.78 1.09	1.93 △ 0.76	2.84 0.15	2.21 △ 0.48

本市の格付けを支えるプラス要因

財政実績と債務状況 (浜松市との差)	0.75 (-)	0.98 0.23	0.83 0.08	0.83 0.08	0.83 0.08	1.20 0.45	0.83 0.08	0.90 0.15	0.83 0.08
行財政運営の状況 (浜松市との差)	0.3 (-)	0.3 0.00	1.5 1.20	0.3 0.00	0.3 0.00	1.5 1.20	1.5 1.20	0.3 0.00	0.3 0.00

※数値の低いほうが良好な状況を示す。

[格付を支える要因]

- 優れた財政規律に支えられた高い財政パフォーマンス
- 堅実な財政運営の実績に示される強固な行財政運営
- 国内比較で、最も低い債務負担比率
(純直接・保証債務/経常的歳入※ が100%を下回る唯一の国内格付先団体)

※ムーディーズ・ジャパン(株)の調査分析に基づく独自の格付評価指標



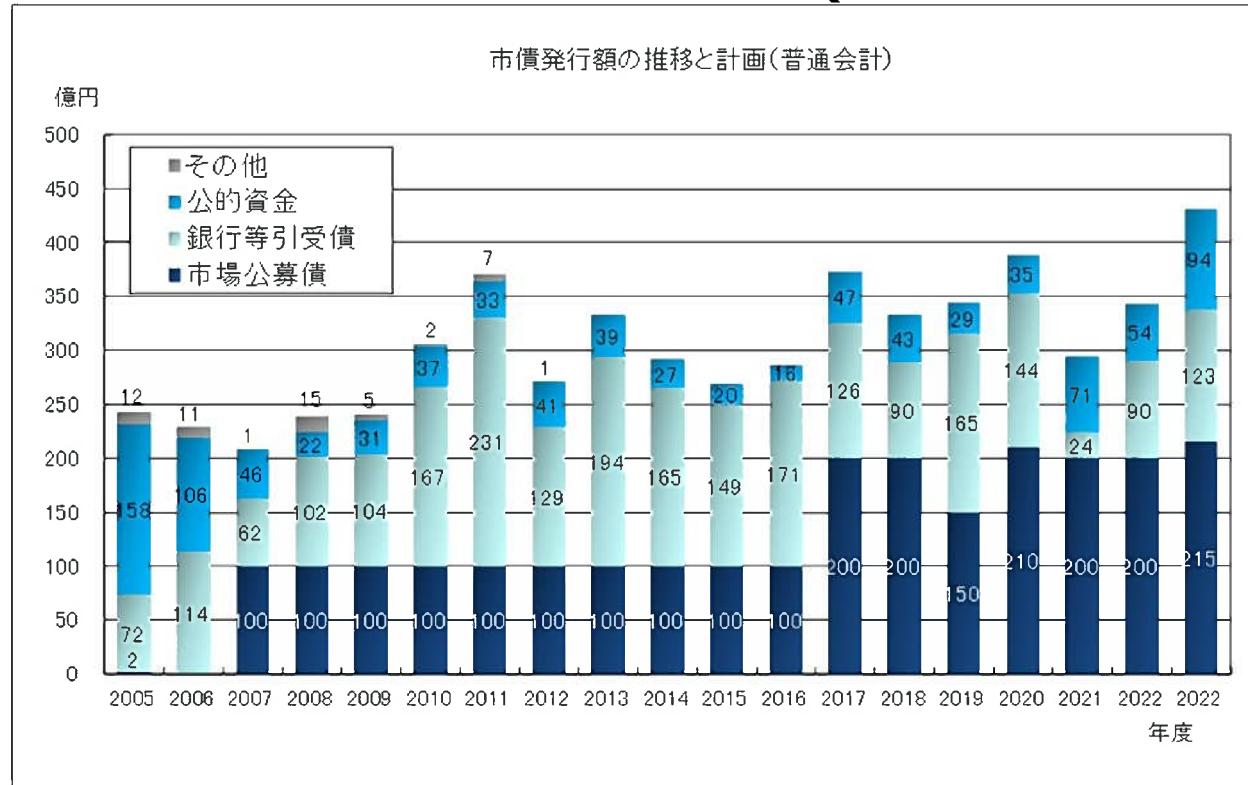
2023年度 市場公募債発行概要



出世大名 家康くん 出世法師 直虎ちゃん

発行内容（予定）

- ・グリーンボンド共同債：15億円（10年債）('23.11月：15億円)
- ・共同債：100億円（10年債）('23.12月、'24.2月：各50億円)
- ・個別債：100億円（10年債）('24.1月：100億円)



※2022年度までは決算額、2023年度は借入見込み

【浜松市個別債引受シングル団】

銀 行 團	株静岡銀行
	株みずほ銀行
	株三井住友銀行
	株SBI新生銀行
	株あおぞら銀行
	浜松磐田信用金庫
	遠州信用金庫
	みずほ証券(株)
	野村證券(株)
	大和証券(株)
証 券 團	SMBC日興証券(株)
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
	東海東京証券(株)
	岡三証券(株)
	株SBI証券
	ゴールドマン・サックス証券(株)
	バークレイズ証券(株)
	しんきん証券(株)



浜松市

HAMAMATSU CITY

浜松市 財務部 財政課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2274

FAX 050-3730-0119

e-mail zaisek@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>